

---

# Dynasound<sup>PRO</sup>



## Pendant Mount Accessory Instruction Guide

**biamp**. | **cambridge**<sup>™</sup>  
SOUND MANAGEMENT



## CSM ペンダントマウント用アクセサリ

CSM ペンダントマウントは、Qt アクティブまたはスタンダード・エミッターを天井の開いたスペースや高いスペースに設置するためのシンプルで魅力的な方法です。ペンダントマウントは現代的な外観でほとんどのインテリアにマッチします。ご希望により、1.9cm コンジットコネクタとコンジットも使用できます。

マウントシーリングボックスカバーは、標準的な 10cm 八角形の電気天井ボックスを吊り下げポイントで使用するためのものです。電気ボックスとエミッターはペンダントマウントのパッケージには含まれていませんので、別途お買い求めください。

付属のケーブルは長さ 6m で、エミッターに必要な接続を提供しながらマウントを吊り下げるために特別に選択されています。

## 仕様

- ・ 高さ： 17.8cm (7")
- ・ 直径： 8.4cm (3.3")
- ・ 吊り下げ重量： 340g (12 oz.)
- ・ 材質： ABS およびポリプロピレン（ケーブルを除く）
- ・ 色： 白もしくは黒
- ・ 取り付け場所 10cm 八角形天井ボックス
- ・ ケーブル： 4 線 UTP, 24 AWG

## 内容物

1. 組み立てシーリングボックスカバー
2. 組み立てケーブル
3. ケーブルクランプ (2)
4. ケーブルクランプ用ナット (2)
5. ペンダントマウントトップと付属シリンダー

## 構成部品の説明

このシーリングボックスカバーは、10cm 八角形の天井ボックスにねじ止めでき、すべての接続用のコネクタ-PCB が付属しています。カバーのデザインはペンダントマウントと同じで、組み立てられたケーブルクランプ、ナット、およびケーブル用の開口部があります。

ケーブルクランプはケーブルの周りにはめ込み、ケーブルクランプナットで固定します。クランプは 2 つあり、ケーブルの両端に 1 つずつ付いています。ペンダント・トップ・エンドは組み立て済みです。

ペンダントマウントの上部がシリンダーに嵌合し、マウント本体を形成する。左右の 2 本のフィンガーがシリンダーの星形の穴にはめ込んで固定します。エミッターはシリンダーにねじ込みます

ケーブルクランプは、ケーブルを傷つけることなくしっかりと固定し、ケーブルの長さを調節できるように設計されています。ケーブルの天井側の端では、クランプがカバーにはめ込まれ、もう一方の端では、クランプがペンダントマウントの上部にはめ込まれます。

組み立てケーブルは、ペンダントマウント上部に挿入するケーブルクランプとナットであらかじめ組み立てられています。

ペンダントマウント端は RJ45 コネクタ-で、シーリングボックス端は終端されていません。長さは 6m で、長さに合わせて切り詰めることができます。

## 事前準備

標準の Qt ケーブルシステムは、シーリングボックスカバー-PCB を使用して接続します。シーリングボックスカバーは、シーリングボックス付属のネジで固定します。ペンダント設置の前に、すべてのケーブルとシーリングボックスの設置が完了している必要があります。

ペンダントマウントシステムは、ペンダントエミッターからエミッターまでの一連の配線を 1 本のケーブルで接続できます。シーリングボックスカバーのコネクタ-PCB には、Qt エミッターと同様の一連の入力とその出力用の RJ45 ジャックと、付属のペンダント・ケーブル用の RJ45 ジャックと 3 つのターミナルスクリュー接続があります。どちらも利用することができます。入力コネクタ-は識別しやすいように少し斜めにセットされています。

ペンダント・ケーブルの長さは、最大ケーブル長の計算に含めないでください。

エミッターの位置を確認し、シーリングボックスを設置します。ボックス間にイーサネットケーブルを敷設し、必要に応じて固定します。現場で終端したケーブルは必ずテストしてください。設置後の誤配線ケーブルのトラブルシューティングは非常に困難です。

コンジットコネクタ-は、カバーとペンダントトップの両方で使用できます。コネクタ-はケーブルクランプとナットの代わりに使用し、付属の開口部にはめ込みます。

## ケーブル長の決定

エミッターを床から希望の高さに設置するために必要なケーブルの長さを決めるには、希望のエミッター底面の高さを天井の高さから引いてください。ペンダントマウントの長さからシーリングボックス内のケーブルを差し引いた長さとして、さらに 10cm を引いてください。シーリングボックスの場合、ケーブルクランプからコネクタ-までの距離は約 7.6cm 必要です。

---

複数のペンダントマウントを設置する場合は、ケーブルの梱包を解き、プロトタイプとして 1 本の長さを整えます。長さをテストするために、1 つのマウントを仕上げで取り付けます。長さが確認できたら、残りのケーブルを切り詰めます。

ケーブル被覆を 2.5cm 切り詰めます。青/白のワイヤーは使用しないので切り落とし、残りのワイヤーを 6mm 剥きます。

## ワイヤーの接続

PCB に記載されている正しい色のワイヤーをソケットに挿入してください。三端子プラグは基板から取り外すことができ、ケーブルへの接続が容易になります。

RJ45 コネクタを使用する場合は、以下の接続を使用して組み立てます：

- ・ RJ45 ピン 3～緑/白
- ・ ピン 4～緑
- ・ ピン 5～青/白
- ・ ピン 6～青

## カバーの組み立て

RJ45 コネクタの付いたケーブルの端を、ペンダントマウント上部と組み立てシリンダーに通します（図 1 参照）。クランプとナットをケーブルに取り付け、組み立てクランプ/ナットと RJ45 コネクタの間を約 15～18cm 残します（図 2 参照）。ケーブルの残りを上部に通し、クランプをペンダント上部に引き上げます。トップ開口部のスロットをクランプのヒンジに合わせます。カチッと音がするまで上部に引き込みます。次に 3 端子プラグをシーリングボックスカバーに通し、PCB がペンダントマウントから離れるようにします（図 3 参照）。

ナットを 3 端子プラグの上にスライドさせ、ケーブルの小さい方の端をシーリングボックスカバーに向けます。ケーブルクランプをネジ山がナットの方になるようにケーブルに取り付けます。ナットをケーブルクランプにスライドさせ、ゆるく締めます。ケーブルクランプとナットをケーブルの正しい位置までスライドさせ、ナットをしっかりと締め付けます。ケーブルがしっかりと固定され、クランプを簡単にすり抜けないことを確認します。クランプをカバーに合わせ、カチッと音がするまで引き抜きます。RJ45 接続の場合は、PCB の「TO PENDANT」ジャックにケーブルを差し込みます（図 4 参照）。



図 1



図 2



図 3



図 4

## 最後の取り付け

RJ45 コネクターをエミッターに差し込み、エミッターをシリンダーにスライドさせます。90 度回転させて固定します。エミッターをシリンダーに入れたら、ペンダントマウントの上部を取り外すことはできません。

シーリングボックスで、コントローラーからのケーブルをカバー PCB の「IN」ジャックに差し込みます。次のエミッターへのケーブルを「To Pendant」ジャックに差し込みます。残りのストリングへのケーブルを「OUT」ジャックに差し込みます。

ケーブルをシーリングボックスに着装し、シーリングボックスに付属のネジでカバーをボックスにネジ止めします。